

# 食料安全保障の強化に向けた提言（中間とりまとめ）（案） 概要

令和 4 年 5 月 19 日  
自由民主党  
総合農林政策調査会  
食料安全保障に関する検討委員会  
農 林 部 会  
水 産 総 合 調 査 会  
水 産 部 会

## I 基本的な考え方

コロナ・ウクライナ情勢により顕在化した危機をふまえて、カーボンニュートラルの取り組みとあわせ、過度な輸入依存からの脱却など、我が国の『食料安全保障の強化』に向けて、4月決定の「総合緊急対策」を第1弾とし、第2弾として、既存の通常予算・TPP 予算とともに、思い切った「食料安全保障予算」を新たに確保し、農林水産関係予算の拡充と再構築を図るとともに、幅広い観点から「食料・農業・農村基本法の検証・見直し」を行い、「数十年先を見据えた食料・農林水産政策」を確立すべき。

### <総合緊急対策の着実な実施等>

予備費を活用した下記の緊急対策について、燃油価格高騰対策の安定実施、価格転嫁の推進、関係国への働きかけ等とあわせて、速やかに実行するとともに、現場の状況を踏まえ継続的に改善対応すべき。

- ①調達国の多角化による肥料原料の安定調達や肥料コスト低減の取り組みの支援
- ②配合飼料基金の積増し・発動条件緩和、国産粗飼料の広域流通の推進
- ③国産米粉等への切替等に取り組む食品製造業等への緊急支援、国産小麦の供給体制の強化
- ④国産材製品の緊急増産等に向けた支援
- ⑤水産加工業者の原材料調達・転換、日ロ漁業協定関係の漁業者への支援
- ⑥金融支援、孤独・孤立対策等

## II 「食料安全保障予算」の検討方向

「III」の検討と並行し、食料安全保障の強化には一定時間を要することを踏まえ、下記の対策について、新たな食料安全保障予算の十分かつ継続的な確保とあわせ、次回の経済対策・補正予算等に必要な施策・予算を盛り込み、「思い切った対策」として緊急的に実施すべき。

1. **価格高騰対策、肥料の安定確保体制の構築、国内資源の有効活用**
  - ・ 肥料の価格影響緩和対策の仕組みの創設をはじめ、燃油・肥料・飼料の高騰・高止まりに向けた対策を拡充、継続支援
  - ・ 調達国の多角化等に向けた体制整備に加え、国内での代替原料の利用拡大、堆肥・稲わら等の利用拡大・広域流通に向けた抜本的な体制構築、肥料原料の備蓄等を支援
2. **輸入依存穀物（小麦・大豆・トウモロコシなど）の増産、備蓄強化**
  - ・ 畑作輪作・水田ブロックローテーションを活用した大幅増産、徹底した排水に拘った土地改良の加速化、高単収品種の開発、貯蔵・保管体制強化等を大胆に支援
  - ・ 小麦・飼料穀物等に係る備蓄水準の検証・見直し
3. **米粉の増産・米粉製品の開発、食品産業の国産原料への切替促進等**
  - ・ 米粉の生産コストの大幅な削減、米粉の増産、2次メーカー等による新商品開発を集中的に支援
  - ・ 国産原料への切替、産地と連携した新商品開発の取組、フードサプライチェーンの強化等を支援
4. **みどりの食料システム戦略（カーボンニュートラル）の推進**
  - ・ スマート農業技術等を活用した化学肥料・農薬の削減等に向けた産地・農業者の取組への直接支援を強化、省エネ機器等の導入や技術開発等を促進
5. **食料安全保障に資する中山間地域等の振興**
  - ・ デジタル田園都市国家構想に基づき、都市部からのIT人材や地域資源を活用し、農用地保全や地域コミュニティの活性化に一体的に取組む中山間地域を手厚く総合的に支援
6. **産地・食品産業が一体となった輸出促進**
  - ・ 品目別全国団体が産地と一体的に海外に国産を売り込む取組等を支援
7. **カーボンニュートラルの実践に向けた森林・林業・木材産業の振興**
  - ・ 木材産業と連携した国産材のシェア拡大等の支援を強化
  - ・ 再造林をはじめとした適切な森林保全・治山によるカーボンニュートラル推進のための支援を強化
8. **資源管理の着実な実施に向けた水産業の振興**
  - ・ 燃油や配合飼料の価格上昇に対する影響緩和対策、漁獲変動等に伴う減収を補填する漁業収入安定対策（積立ふらす等）を着実に実施
  - ・ 漁船漁業構造改革対策（もうかる漁業）、漁船・漁具等のリース方式による導入、施設の再編整備を強力的に支援

### Ⅲ 食料・農業・農村基本法の検証・見直し含む「中長期的な検討課題」

将来を見据えた食料安全保障の強化に向け、「Ⅱ」の項目に加え、人と農地、消費者、フードシステム・価格形成、条件不利地域、研究開発、国土強靱化、環境との調和（カーボンニュートラル）など、幅広い観点で、今秋から現行基本法の検証作業を本格化し、次期食料・農業・農村基本計画の策定を行えるよう検討を進めるべき。

また、長期的な食料安全保障の強化等を着実に推進するため、政府に新たに食料・農林水産政策を統括する「食料安全保障対策本部（仮称）」を立ち上げるべき。

# 食料安全保障の強化に向けた提言（中間とりまとめ）（案） 【イメージ】

## 基本的な考え方

- コロナ・ウクライナ情勢により顕在化した食料安定供給のリスクにより、局面が変わり、カーボンニュートラルとあわせ、『食料安全保障の強化』は「国家の喫緊かつ最重要課題」
- 我が国の食料安全保障の強化に向けて、4月決定の「総合緊急対策」を第1弾とし、第2弾として、既存の通常予算・TPP予算とともに、思い切った「食料安全保障予算」を新たに確保し、農林水産関係予算の拡充と再構築を図る必要
- 幅広い観点から「食料・農業・農村基本法の検証・見直し」を行い、「数十年先を見据えた食料・農林水産政策」を確立すべき

### 「食料安全保障予算」

（既存の予算とともに、十分かつ継続的に確保）

#### 思い切った対策を速やかに実施

1. 価格高騰対策、肥料の安定確保体制の構築、国内資源の有効活用
2. 輸入依存穀物（小麦・大豆・トウモロコシなど）の増産、備蓄強化
3. 米粉の増産・米粉製品の開発、食品産業の国産原料への切替促進等
4. みどりの食料システム戦略（カーボンニュートラル）の推進
5. 食料安全保障に資する中山間地域等の振興
6. 産地・食品産業が一体となった輸出促進
7. カーボンニュートラルの実践に向けた森林・林業・木材産業の振興
8. 資源管理の着実な実施に向けた水産業の振興

### 食料・農業・農村基本法の見直しを含む「中長期的な検討課題」

#### 【食料安全保障予算の更なる充実】

- (1) 生産資材の安定確保
- (2) 国内農業生産の拡大・国産農林水産物の利用拡大
- (3) みどりの食料システム戦略（カーボンニュートラル）の推進
- (4) 国産水産物の漁獲量の増大等に向けた水産業・漁村への支援施策の強化

#### 【幅広い食料・農林水産業施策の検証・検討】

- (1) 農業人材の持続的な確保
- (2) 農地の適正利用の徹底・強化
- (3) 国民理解の醸成、フードシステム・価格形成
- (4) 中山間地等条件不利地域への支援施策の強化、農村の活性化
- (5) 研究開発、技術実装の加速化
- (6) 国土強靱化の継続・強化

#### 【食料安全保障の強化に向けた施策の推進方策】

- (1) 地方自治体や関係団体の取組・連携の強化
- (2) 食料自給率・自給力目標のあり方など

一般予算

TPP等関連予算

「食料安全保障の強化」 「数十年先を見据えた食料・農林水産政策」の確立